

平成 26 年 11 月 18 日 公告

大野下水処理場外 1 か所沈澄池汚泥かき寄せ機外設備工事

設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤				正			
No.1  特記仕様書(1) 10 ページ 第 4 章 第 24 条 1,2	1 配管の仕様は、次のとおりとする。				1 配管の仕様は、次のとおりとする。			
	配管の区分	配管材料	口 径	備考	配管の区分	配管材料	口 径	備考
	槽内排水管	DCIP(D3)	φ 75～φ 100		空気管	SGPW	25A～80A	
	空気管	SGP+Zn	125A～250A	JIS5K 溶接フランジ		SUS304TP Sch20S	25A～40A	水中部、床貫通部
		SGPW	25A～80A		沈澄池排水配管	DCIP(D3)	φ 200	JIS7.5K フランジ形
		SUS304TP Sch20S	25A～40A	水中部、床貫通部	汚泥引抜管	DCIP(D3)	φ 200	JIS7.5K フランジ形
	散水管	SGP-VA	25A～50A	ねじ込み	2 弁類の仕様は、次のとおりとする。			
	沈澄池排水配管	DCIP(D3)	φ 200	JIS7.5K フランジ形	弁類の区分	名 称	仕 様	備 考
	汚泥引抜管	DCIP(D3)	φ 200	JIS7.5K フランジ形	空気管	手動弁	仕切弁 青銅製 ねじ込み	25A～40A
	2 弁類の仕様は、次のとおりとする。							
弁類の区分	名 称	仕 様	備 考					
槽内排水管	手動弁	仕切弁 鋳鉄製 JIS7.5K フランジ式 要部 SUS	φ 75					
空気管	手動弁	仕切弁 鋳鉄製 JIS5K フランジ式	200A					
		仕切弁 青銅製 ねじ込み	25A～40A					
—	可とう管	ベローズ形(SUS304) JIS5K	250A					
散水管	手動弁	散水栓 町野式散水栓	25A					

訂正箇所	誤	正																
No.2  特記仕様書(1) 19 ページ 第 7 章 第 59 条	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="521 177 808 225">3 設計水深(前面)</td> <td data-bbox="808 177 1312 225">2.3m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="521 225 808 272">設計水深(後面)</td> <td data-bbox="808 225 1312 272">0m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="521 272 808 320">4 操作水深(前面)</td> <td data-bbox="808 272 1312 320">1.9m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="521 320 808 368">設計水深(後面)</td> <td data-bbox="808 320 1312 368">0m</td> </tr> </table>	3 設計水深(前面)	2.3m	設計水深(後面)	0m	4 操作水深(前面)	1.9m	設計水深(後面)	0m	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1335 177 1621 225">3 設計水深(前面)</td> <td data-bbox="1621 177 2125 225">2.3m (OP+5.310)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1335 225 1621 272">設計水深(後面)</td> <td data-bbox="1621 225 2125 272">0m (ゲート敷高 OP+3.010)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1335 272 1621 320">4 操作水深(前面)</td> <td data-bbox="1621 272 2125 320">1.9m (OP+4.910)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1335 320 1621 368">操作水深(後面)</td> <td data-bbox="1621 320 2125 368">0m (ゲート敷高 OP+3.010)</td> </tr> </table>	3 設計水深(前面)	2.3m (OP+5.310)	設計水深(後面)	0m (ゲート敷高 OP+3.010)	4 操作水深(前面)	1.9m (OP+4.910)	操作水深(後面)	0m (ゲート敷高 OP+3.010)
3 設計水深(前面)	2.3m																	
設計水深(後面)	0m																	
4 操作水深(前面)	1.9m																	
設計水深(後面)	0m																	
3 設計水深(前面)	2.3m (OP+5.310)																	
設計水深(後面)	0m (ゲート敷高 OP+3.010)																	
4 操作水深(前面)	1.9m (OP+4.910)																	
操作水深(後面)	0m (ゲート敷高 OP+3.010)																	
No.3  特記仕様書(1) 22 ページ 第 7 章 第 73 条	(2) 床 (SS400+Zn)	(2) 床受枠 (SS400+Zn)																
No.4  特記仕様書(1) 23 ページ 第 7 章 第 75 条 3	(1) 沈殿池汚泥引抜弁 (電動偏心構造弁 250mm) 2 台	(1) 沈殿池汚泥引抜弁 (電動偏心構造弁 200mm) 2 台																
No.5  特記仕様書(1) 23 ページ 第 7 章 第 77 条	3 沈殿池床部分	3 沈殿池配管廊床部分																
No.6  特記仕様書(1) 26 ページ 第 9 章 第 95 条 3,4	3 沈殿池給水ポンプ操作盤 (屋内自立形 耐震クラス:A) 1 面 4 沈殿池各槽排水ポンプ操作盤 (屋内自立形 耐震クラス:A) 1 面	3 沈殿池給水ポンプ操作盤 (屋内壁掛形 耐震クラス:A) 1 面 4 沈殿池各槽排水ポンプ操作盤 (屋内壁掛形 耐震クラス:A) 1 面																
No.7  図面第 5 号	X5-X6 通りの開口部蓋が朱表記 (今回工事) となっている。	X5-X6 通りの開口部蓋は今回工事範囲外ですので黒表記に訂正。																
No.8  図面第 31 号	「SUS304 t=4mm 洗浄用受皿 (今回)」となっている。	洗浄用受皿は今回工事範囲外ですので削除。																